

千葉国際芸術祭のイベントを開催します

千葉市では、令和7年度に開催予定の千葉国際芸術祭に向けて、キックオフイベントとなるラウンドテーブル型のトークイベント「千葉国際芸術祭ラウンドテーブル01」と、アートイベント「わたしの千葉市！テーマパークの模型を作ろう！」を開催しますので、お知らせします。

1 千葉国際芸術祭ラウンドテーブル01

(1) 開催日時

令和6年2月28日（水）10：30～12：00

(2) 会場

千葉市美術館 1階さや堂ホール

(3) イベント概要

本芸術祭の総合ディレクターをはじめ、芸術、行政から登壇者を迎えたラウンドテーブル型のトークイベントです。本イベントでは、登壇者が立場の隔てなく意見交換を行い、さまざまな領域で活躍する市民や企業も参加します。

「なぜ千葉市に芸術祭が必要なのか」という問いを軸にそれぞれの立場から思いを語るとともに、千葉市の文化芸術の振興から文化芸術によるまちづくりまで、深く意見交換を行います。

(5) 登壇者

なかむら まさと
中村 政人（千葉国際芸術祭総合ディレクター）

ふじ ひろし
藤 浩志（アーティスト）

やまなし えみこ
山梨 絵美子（千葉市美術館館長）

神谷 俊一（千葉市長）

(6) 参加者

当日先着70人

2 わたしの千葉市！テーマパークの模型を作ろう！

(1) 開催日時

令和6年2月28日（水）14：00～16：00

(2) 会場

千草台小学校アフタースクール

(3) イベント概要

千葉市の自慢したいこと、おもしろいところ、みんなに見てもらいたいところや、自分しか知らない隠れたポイントなどを集めて自分だけの、千葉市をテーマにしたテーマパークの模型を作ります。

(4) 講師
くりばら よしあき
栗原 良彰 (アーティスト)

(5) 参加者
千草台小学校アフタースクール在籍児童 25人程度

3 取材について

取材を希望する方は、当日会場に直接お越してください。また、取材の際は、貴社腕章を着用してください。

なお、「わたしの千葉市！テーマパークの模型を作ろう！」において、取材に配慮が必要な児童を当日ご案内しますので、ご協力をお願いします。

<参考>

1 千葉国際芸術祭とは

千葉市では、芸術祭の定期開催が市の文化芸術の振興に大きな役割を果たしていくことは、市のブランディングに大きく貢献できるものと考え、芸術祭の目的や方針等を定めた「千葉市芸術祭基本構想」を令和5年1月に策定しました。

芸術祭の名称を「千葉国際芸術祭」とし、令和7年度を本番年とする「千葉国際芸術祭2025」を開催します。令和7年度以降も、本芸術祭を定期開催していくことで、本市の魅力国内外問わず広く発信して文化芸術による多様な交流を生み出し、文化芸術にあふれた創造性豊かな街となることを目指します。

2 千葉国際芸術祭における事業の展開について

地域ごとの魅力ある資源を活かし、アーティストと市民が共に楽しみながら創り上げていく芸術祭を目指し、多様な文化芸術活動の場や機会を創出します。

また、多くの方が作品や活動に気軽に触れることができるよう、市内のさまざまな場所を活用するとともに、学校や民間企業等と連携を図っていきます。

併せて、文化芸術によるまちづくりや文化振興を担う人材育成も実践していきます。

3 市ホームページ（千葉国際芸術祭）

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/bunka/chibakokusaigeizyutusai.html>

